

Racing Development
TRD

NEW STYLE ONE MAKE RALLY

Vitz challenge

Round.5
in
群馬

29 Sep. 2008



DUNLOP

AKG
akashic group

WAKO'S

KYB

Kosei

ARUZE

TANIDA
MOTOR SPORTS

PHILIPS

Santsusho

G-SHOCK

KTC

ECLIPSE

洗剤革命

PATLITE

Racing Development
TRD
Factory

Racing Development
TRD

TOYOTA



2008年シリーズも後半戦へと突入!
秋景色、軽井沢・嬬恋の地を
ヴィッツチャレンジャーが駆け抜ける!!

2008年9月28日、初秋の北軽井沢・嬬恋村を舞台に『TRD ヴィッツチャレンジ Round.5 in 群馬』が開催された。

全6戦で展開される今シーズンも、早くも第5戦。シリーズポイントの話題に盛り上がる選手たちも見受けられ、この群馬ラウンドがシリーズの行方を左右する重要なラリーとなることを、選手たちの誰もが承知している様子である。



意気揚々とした選手たちを乗せて、『秋桜の咲くふれあい広場』のスタートゲートをくぐったヴィッツラリーカーは、すがすがしい北軽井沢の風を切りながら、次々とSSコースへと向かった。



スタート会場では、ワコーズ様による商品のデモンストレーションとサービスが行われた。

毎回行われる初参加者に向けたルール説明会。緊張の面持ちで説明を聞く。

TRD Vitzchallenge 2008 Rd.5 in GUNMA Event data

- 主催 コルサ・スポーツ・サークル (CORSA)
- 開催日 2008年9月28日(日)
- 開催エリア 群馬県内
- スタート会場 ふれあい広場
- サービスパーク ふれあい広場
- ゴール会場 グリーンプラザ軽井沢
- セクション数 2
- SS本数 7本
- SSトータル距離 17.13km
- 総走行距離 約150km
- 参加台数 52台
Class 1 11台
Class 2 5台
Class 3 12台
Class 4 24台
- 完走台数 49台 (不出走1台)
- 取材媒体

株式会社 ニュース出版
WRC PLUS 2008 (モータースポーツ誌)
株式会社 芸文社
ブレイドライブ (モータースポーツ誌)

いよいよスタート!

今回のSSコース設定は、旧浅間サーキットに設定されたグラベルコースと、浅間山のふもとに広がる2本のターマック林道をSSとしてコース設定がされている。旧浅間サーキットは、昭和30~40年代に存在した、かつての名ドライバー(ライダー)を輩出したことでも有名な浅間サーキットのコースの一部を利用して、最近オープンしたダートトライアルコースである。収穫をむかえた遙か広大なキャベツ畑の中を移動するヴィッツラリーカーは、WRCのリエゾンを彷彿とさせるかのような壮大な光景であった。



「群馬が地元」というレーシングドライバー小林且雄選手が今シーズン2度目のチャレンジ。前年度優勝者の斉藤邦夫選手も応援にかけつけた。

表彰式

ヴィッツラリーカーは今日一日のラリーを終えて、グリーンプラザ軽井沢へゴールする。 オフィシャルへの礼と労いをかける選手、入賞を祝う選手…、いつもながら選手たちの顔は晴れ晴れとした笑顔に満ちている。 クラス1では野村長選手(ドライバー部門)が、クラス2では松木秀樹選手(ドライバー部門)と桜井克之選手(コ・ドライバー部門)が、本ラウンドで早々とシリーズ優勝を決めた。 大接戦を繰り広げるクラス3とクラス4は、最終戦の中部ラウンドに持ち越され、ますます気を抜けない展開となった。

Class 1

1500ccオープンクラス



Class 2

1500ccチャレンジクラス



Class 3

1000ccオープンクラス



Class 4

1000ccチャレンジクラス



4位～6位入賞

Wako's 賞

特別賞



Official 賞

特別賞



Kosei 賞

特別賞



いよいよ今シーズン最終戦となる次戦「Rd.6 in 中部」は、11月2日(日) 愛知県 幡豆町周辺で開催いたします。